

元気なまじかど

自動車教習所で交通ルールを再確認

交通安全研修

甲賀自動車教習所を利用した交通安全研修が4月10日に開かれ、業務で車を使う機会が多いシルバー人材センターの皆さん30人が参加しました。この研修は、高齢者を対象に甲賀自動車教習所、甲賀警察署などが春の全国交通安全週間に毎年実施しているものです。研修では、指導員が同乗し、約1キロのコースを運転したほか、講習や反射速度を測る検査などが行われました。



▲自動車教習所で実施された交通安全研修

参加者は、「一時停止しているつもりでも、できていなかった。今までの確認の甘さを知ることができた」と日頃の運転を見直していました。

私達の健康は私達の手で

新たに77人が健康推進員に

甲賀市健康推進連絡協議会定期総会が4月11日、忍の里プラザで開催されました。総会に先立ち委嘱状交付式が行われ、中嶋市長から今年度新たに健康推進員となられる77人を代表し、楠山禊子さんに委嘱状が手渡されました。



▲手作りの「栄養バランスハンド」を活用した啓発活動

現在、総勢477人の健康推進員の皆さんが、「私達の健康は私達の手で」をスローガンに各地域で料理講習会や啓発活動など様々なボランティア活動を行っておられます。今回委嘱された皆さんは、これから地域における健康づくりの核として活躍いただきます。

丁寧な手摘み

新茶の収穫始まる

県内でトップをきって露地栽培の新茶の手摘みが4月24日、農事組合法人グリーンティ土山が管理している水口町虫生野の集団茶園で行われました。

地域の方40人が、新芽を丁寧に摘み取り、一日かけて生葉約200キロを収穫しました。収穫された茶葉は、この日のうちに製茶され、翌々日には県内の各小売店に並びます。

同組合代表の藤村さんは「今年は寒暖の差が大きいため、うまみが増し、香りも良いお茶ができると期待している」と話していました。



▲丁寧に新茶を摘み取る地域の方たち

モダンな洋館でお気に入りの一品を

ヴォーリス春の日マルシェ

手作り市「ヴォーリス春の日マルシェ」が4月29日、国登録有形文化財建造物の旧水口図書館で開かれ、大勢の人出で賑わいました。

旧水口図書館を多くの人に知ってもらおうと、同施設を運営している「稚木の会」が初めて行ったもので、館内には、焼き菓子やアクセサリなどを扱う18店が並びました。

また、出店していたポリビアの音楽家リマ・ミゲルさんが伝統楽器の笛「チョケラ」を演奏する場面もあり、訪れた方は、モダンな洋館の雰囲気と異文化を楽しむながら、お気に入りの一品を探していました。



▲お気に入りの一品を探す来館者

水口岡山城を地域の誇りに

よみがえれ水口岡山城2014

高さ11メートルの巨大バルーンで水口岡山城を再現する「よみがえれ水口岡山城2014」が、4月17日から20日の4日間、古城山山頂で催されました。この催しは、豊臣政権下で重要な役割を果たした水口岡山城を地域の誇りとし、多くの人に訪れてもらうきっかけにと「水口岡山城の会」が主催したもので、市の市制施行10周年記念市民提案事業です。



▲水口岡山城に寄せる思いを書き込む子どもたち

期間中は、東海道から城跡をめぐる歴史探訪ウォーキングや市が進めている発掘調査現場の公開も行われ、地域の歴史に親しむ機会となりました。

菜の花つくしの一日を満喫

NPO法人「鹿深の杜」なのはなまつり

NPO法人「鹿深の杜」なのはなまつりが4月19日、水口町のふれあい農園で開かれ、多くの親子連れが菜の花摘みや菜の花料理を楽しみました。

同法人は、耕作放棄地を利用し、地域の活性化と環境保全に取り組んでおり、休耕田に植えられた15アールの菜の花は、会員のほか地域のボランティアの方が世話をしています。

この催しは、満開の菜の花を囲んで交流してもらおうと3年前から実施され、会場では、紙芝居や草笛が演奏されたほか、菜の花を使ったピザやおにぎりが振る舞われました。



▲菜の花摘みを楽しむ親子